令和４年度　　宮城県立支援学校女川高等学園の研究概要　～令和５年１月末現在～

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　運営委員氏名（　澁谷　真樹子　）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究テーマ | 「社会的・職業的に自立する力を育てる指導の在り方（1年次／２年計画）  ～集団と個のつながりを意識した自立活動の実践を通して～」 |
| 研究目標 | 高等部のみの知的障害特別支援学校であり，産業技術科で，３年間全寮制の知的障害特別支援学校という本校の特色を生かし，集団という人の関わりの中で個を伸ばす実践を通して「社会的・職業的に自立する力」を育てる効果的な指導の在り方を探る。 |
| 研究内容・方法  研究計画 | 〔研究の内容〕   1. 「自立活動指導計画シート」による指導すべき課題の共通理解 2. 自立活動の目標・内容・評価への生徒本人の参加 3. 実践の累積と情報の共有   〔研究の方法〕   1. 学年を基盤とした実践の積み重ね   ア・学校での実践  自立活動の時間の指導と，自立活動の目標を意識した各教科等の指導の実践を行った。  イ・寄宿舎での実践  自立活動の目標と関連付け，学年ごとに狙いを設定し，実践を行った。   1. 研究研修会の実施 2. 授業研究の実施   〔研究計画〕  １年次（令和４年度） ～集団と個のつながりを意識した自立活動の実践を通して～  ２年次（令和５年度） ～集団と個のつながりを意識した実践を通して（仮）～ |
| 研究の概要 | 〔学年を基盤とした実践の積み重ね〕  「社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力」であるとされる「基礎的・汎用的能力」の「人間関係・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を各学年の実態に合わせ実践した。  １学年は「自己理解・自己管理能力」に焦点をあて，自立に向けた自分の課題に気付くことを目標とした実践をした。２学年は「人間関係・社会形成能力」に焦点を当て，集団の中で，自分の課題に向き合うことを目的とした実践をした。３学年は「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」に焦点を当て，個人の課題に対し多方面から実践した。寄宿舎でも，毎日の引き継ぎ簿を自立活動の目標の関連づけ,寄宿舎生活を通して各学年の実践をした。  〔研究研修会の実施〕  　「自立活動について」という演題で研修会を実施した。生徒の実態把握のための具体的な提案について，ワークショップを交えて研修した。  〔授業研究の実施〕  研究授業の参観､授業の動画,指導案，事後の感想，生徒の変容等の情報を共有した。  研究授業①　自立活動の時間（３年生)　　研究授業②　特別の教科　道徳（２学年）  研究授業③　専門教科　福祉（２学年）　　研究授業④　自立活動の時間（１学年） |